

■一絲文守 禅僧。沢庵に師事し、後水尾上皇から帰依され、朝廷文化の軸となるも、早世。

いっしもんじゅ

・・・・・・1608＝ 公卿岩倉具亮の子に生まれる。

徳川家康没・1616＝ 8歳：

吉原遊郭始・1617＝ 9歳：

利根川付替始1621＝13歳：相国寺の雪岑梵峯に師事、

徳川家光将軍1623＝15歳：

人身売買禁止1626＝18歳：堺の沢庵宗彭に参じ、槇尾山の賢俊良永から受戒した後、

紫衣勅許無効1627＝19歳：再び_沢庵宗彭に師事、

紫衣事件・・1629＝21歳：この年、*師沢庵が紫衣事件で流罪になると、配流先出羽まで赴いて師事、

寛永禁書令・1630＝22歳：帰京後、洛西の岡村に閑夢庵を創って住し、烏丸光広や近衛信尋らの訪問を受け、

糸割符拡大・1631＝23歳：この年、師沢庵が赦免される。幕府が新寺建立を厳禁。_後水尾上皇にも禅要を説く。

徳川秀忠没・1632＝24歳：この年、幕府が諸本山に末寺帳の提出を命じる。丹波の山国に庵を結び、

紫衣事件後、師沢庵を批判する一方で、その期待を受けて、

鎖国令Ⅱ・・1634＝25歳：道場(堀江庵)とする。京都大徳寺に師沢庵を訪問し、師沢庵が但馬に帰郷するのにも従う。

参勤交代始・1635＝26歳：*大悟。

東照宮完成・1636＝27歳：

島原の乱終・1638＝29歳：後水尾上皇の寄進を受け、京都西賀茂に霊源庵を創建するも、まもなく去って、堀江庵に戻る。この年、師沢庵にが後水尾上皇からの国師号下賜を辞退し、徹翁義亨に譲ったのを賞賛し、頌・序を書く。

寛永飢饉始・1640＝31歳：後水尾上皇に、雪窓宗崔を紹介、

家光鎖国完成1641＝32歳：_幕府が新寺建立を厳禁するなか、堀江庵の南に、後水尾上皇から旧殿を賜って、大梅山法常寺を創建、

寛永飢饉終・1643＝34歳：_後水尾上皇の命で、近江永源寺中興の大事業に着手。この年、愚堂東庵に会い、

明滅亡・・1644＝35歳：*愚堂東庵から印可を受けて嗣法するが、

・・・・・・1645＝36歳：

・・・・・・1646＝37歳：_没した。